

# アースファーム社長 尾崎俊也さん(38)

「大型連休前は小さくてどうなるかと思っただけ、よく育つてくれてうれし  
い」  
スーツ姿で自社の農場に走りこみ、社員から野菜の生育状況について説明を受ける。順調に育つ野菜に顔はほころんでいた。「休日なんかは家族で畑に行くんですよ。子供が大喜びで有機肥料を使って、「緑野菜」と呼ぶ無農薬野菜を生産するアースファーム。廃棄物処理会社「ア

出雲大社や八重垣神社  
。「縁結び」にまつわる観光スポットが点在する出雲地方。縁結びをアピールし、地域や事業の活性化に結びつけようと、さまざまな取り組みが行われている。縁結び企画に情熱を燃やす人たちを紹介する。



>1<

## 島根

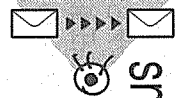
SHIMANE

松江支局  
〒690-0852  
松江市千鳥町15  
コープビル2階  
0852(21)3169  
FAX 0852(32)5318

通信部  
出雲 0853(53)3077  
販売店へのご用は  
安来 (23)1917  
来瀬 (32)2402  
松屋 (28)5445  
江郷 (21)5371  
造道 (2)0826  
西田 (62)1266  
玉穴 (66)3024  
平雲 (62)2465  
平雲 (72)0421  
出雲 (20)1730  
出雲 (25)2322  
出雲 (53)1862  
出雲 (23)5148  
出雲 (21)1537  
出雲 (21)1018  
古志 (85)8925  
石見 (84)8540  
石見 (88)4314  
仁津 (52)0936  
江周 (27)2091

広告のご用は  
0852(21)6684  
購読お申し込みは  
0120-34-3733

### Eメール



snk.sima@nifty.com

街の話題や事件・事故などの情報をお寄せください。

## 無農薬「緑野菜」作り



社員から野菜の生育状況を聞く尾崎さん

今年三月には、東出雲町の揖屋干拓地に念願の自社農地約三千三百平方メートル、タマネギとジャガイモの栽培を始めている。

「農業を始めたことで、地域と交流できるようになったのがありがたい」と振り返る。野菜を作っている社員の結婚も決まり、「地域との縁が結ばれ、社員も結婚する。本当に縁が結ばれました」。早速の御利益に笑顔だ。ただ、「どこ

サポート」の関連会社として、昨年夏に設立されたばかり。畑違いの業界から農業に進出したものの、まだまだ野菜作りは素人だ。「これまで感じることが環境(現・アースサポート)えず、群馬県の業者などが

なかつた季節感を味わえま  
す。農業は決められたこと  
をしつかりとしないため  
です。手間はかかるけど、  
ど、わが子が育つように面  
白い」と農業の魅力を語  
る。

大学卒業後、都銀勤務や  
米留学をへて平成八年、  
父親が経営していたアース  
の栽培を始めている。

「農家回りをして肥料を  
薦めるんですが、ごみ屋が  
何をやるんだと冷たい対応  
をされることも多かつた」  
。今では四十五軒の農  
家に提供し、害虫がつかず  
生育がいいと評判だとい  
う。

野菜で結ばれた地域との  
縁。次は子供と農業の縁結  
びだ。

ら液化肥料を購入し、この  
肥料を知ってもらおうと近  
くの農家に無料提供してき  
た。

「農家回りをして肥料を  
薦めるんですが、ごみ屋が  
何をやるんだと冷たい対応  
をされることも多かつた」  
。今では四十五軒の農  
家に提供し、害虫がつかず  
生育がいいと評判だとい  
う。

今後、小学校の給食の残  
りで肥料を作り、授業で野  
菜づくりを指導したいとい  
う。「農業に興味を持っ  
て、将来、農業をやってく  
れる子供もいるはず。地域  
貢献をしたいですね」

《メモ》アースフ  
ームは平成17年7月  
設立。所在地は松江市  
八幡町。生ごみからで  
きる液化肥料を使う循  
環型野菜を作ってい  
る。循環を他人と結ば  
れる「縁」として、こ  
この肥料で作られる無  
農薬野菜を「緑野  
菜」と呼んでいる。一  
般向けの販売はまだだ  
が、温泉旅館などに提  
供。今年中に肥料を作  
るプラントを建設し  
て、一般向けにも販売  
する予定。問い合わせ  
は同社(☎0852-  
37-0014)。